

ivizia

ドライブレコーダー

DRZ-300

取扱説明書



保証書別添付

この度は、ドライブレコーダーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受取りください。

目次

はじめに

■安全上のご注意(必ずお守りください).....	1
■使用上のご注意(必ずお守りください).....	4
■商品構成一覧表	5
■各部の名称と働き	6

準備

■取り付けかた	8
■Micro SDカードについて.....	11
■電源の入れ方・切り方	14

操作方法

■緊急録画について	15
■動画記録モード	17
■撮影モード	20
■再生モード(記録ファイルの読み出し)	22
■パソコンで記録ファイルの読み出し	24
■本体全般設定について	25
■本体表示言語設定について	26

その他

■記録時間について	27
■トラブルシューティング	28
■仕様書	29

安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

 警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
 注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
 禁止	絶対にしてはいけない事項
 強制	必ず守るべき事項



警告

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する

- ❗ 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。(ヒューズ: 2A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

- ⊘ 運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対不使用しない

- ⊘ ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用すると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない

- ⊘ 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

- ❗ 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

- ❗ ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

- ❗ 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

- ⊘ 煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になります。
- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- ⊘ あやまって、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁処理する

- ❗ 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

- ❗ 取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

DC12V マイナスアース車で使用する

- ⚠ DC12V マイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

分解や改造はしない

- ⊘ 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。
- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

機器内部に水や異物を入れない

- ❗ 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがつかからないようご注意ください。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子 ⊖ を外しておく

- ❗ バッテリーのマイナス端子 ⊖ を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- ❗ 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車載用以外には使用しない

-  車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドア等)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

強い衝撃を与えない

-  落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

-  ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

-  指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けない

-  直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる事があります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

-  雨や洗車などで水がかかったり、湿気ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

-  強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

-  雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターには触れないでください。感電の原因となる場合があります。

本機の通風孔を塞がない

-  本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。



注意

取付中は中エンジンを切る



本機を取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態を取り付けると、感電及び故障の原因になります。

磁性性があるものに近づけない



本機の近くに磁性性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります



トンネル入出時のように、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする



車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

信号機の色を認識できないことがあります



LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

MicroSDカード容量超えを注意する



本機は8GBのMicroSDカードを付属しています。緊急録画で記録された動画は上書きされないので、カードの容量を超えることがあります。

商品構成一覧表

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認して下さい。



■ドライブレコーダー本体



■シガー電源アダプター



■取付ステー



■Micro SDカード 8GB(本体に装着)



■取扱説明書



■保証書



■USBケーブル



使用上のご注意

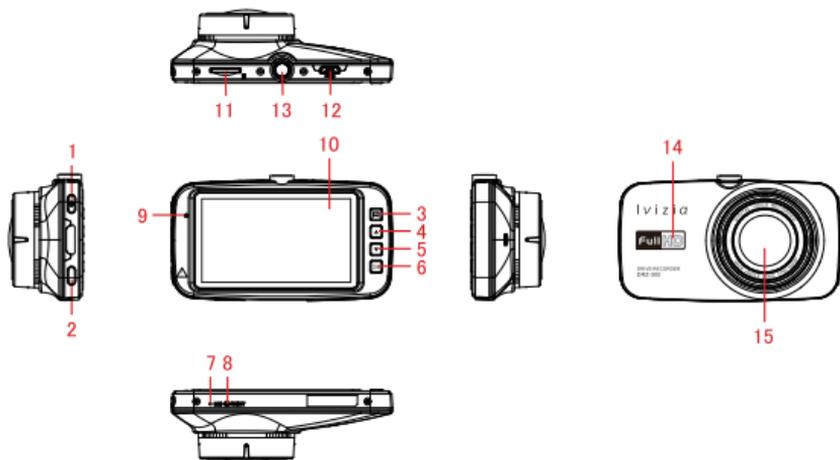
1、シガー電源アダプターについて

- 付属のシガー電源アダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- シガー電源アダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲(12V)を超えたり電圧変動が起きる可能性があり、シガー電源アダプターや本機故障の原因になることがあります。

2、取付ステーの使用について

- 付属の取付ステーは運転に支障をきたさない位置、またエアバッグなどの安全装置の動きを妨げないようにお取り付けください。
- ステーを取り付ける前に、フロントガラスの表面をきれいにしてください。ほこり・異物は両面テープに影響があり、落下・脱落する恐れがあります。

各部の名称と働き



1.電源ボタン

短く押すと電源ON、電源ONの状態では長押しすると電源OFFします。

2.緊急録画ボタン

録画中短く押すと、緊急録画を開始します。

3.MENUボタン(メニューボタン)

一回押すと、各モードの設定メニューと本機の全般設定を表示します。

もう一回押すと、元のモードに戻ります。

長押しすると各モードを切り替えます。

※録画中はMENUボタンが動作しません、動画を停止してから動作します。



動画記録モード



撮影モード



再生モード

4.カーソル(▲)/MIC ON/OFFボタン

カーソルの移動／録画中に短く押すと、録画中の録音をオフに切り替えます。

(工場出荷設定値:オン)

5.カーソル(▼)/Motion detectボタン

カーソルの移動／Motion detect機能をON/OFFします。

各部の名称と働き(つづき)

6.OKボタン(確認ボタン)

設定メニュー:項目や設定値を決定します。

動画モード:録画中に押すと、録画を停止します。

録画停止中に押すと、録画を開始します。

撮影モード:このボタンを押すと、写真を撮影できます。

再生モード:動画を選択して、このボタンを押すたびに、動画を再生/一時停止に切り替えます。

7.マイク

周りの音を収集します。

8.リセットスイッチ

本機が正しく動作しなくなった時に押してください。

ご注意:

リセットすると、本機は強制的に電源が切れます。

9.電源ランプ

本機動作状況を表示します。

10.液晶モニター

2.7インチTFTフルカラー液晶

11. Micro SDカード挿入口

Micro SDカードを入れて使用します。

12.USB端子

付属の5Vコンバーター付きシガー電源アダプターを接続します。

ご注意:

本機付属の5Vコンバーター付きシガー電源アダプター以外は絶対に接続しないでください。正常に動作しなくなったり、故障する可能性があります。

13.ジョイントレール

同梱品の取付ステーを取り付けます。

14.スピーカー

記録されたファイルの音声とボタン音を出力します。

15.レンズ

ご注意:

工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

取り付けかた

取付ステーを使って、車に本機を取り付けます。

取り付けのご注意：

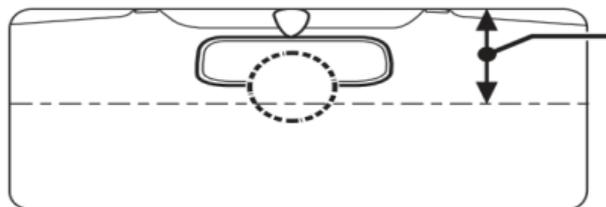
本機を車に取り付ける前に、次の内容をご確認の上、取り付けてください。

- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
- 車に取り付ける際には、運転に支障となる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- フロントガラスの上部20%の範囲以内に取り付けてください。
- 同梱品の取付ステーは両面テープで固定されます。一度取り付けると取り外しが難しくなります。ご注意ください。
- 同梱品のシガー電源アダプター以外のものを使用しないでください。
- ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガー電源アダプターが濡れないようご注意ください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時などに、鮮明に記録できます。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には、取り付けないでください。事故の際に、安全装置が動かず、けがの原因となります。

推奨取り付け位置(参考)

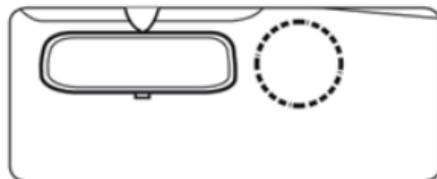
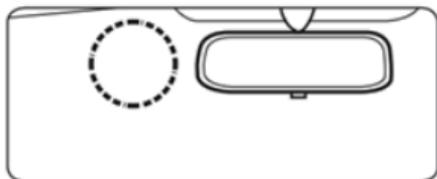
取り付け位置(正面)

(1) ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適の映像を録画できます。



(2) ルームミラーの後部、フロントガラスの中央部に設置できない場合は、ルームミラーの左、もしくは右側にも設置することができます。

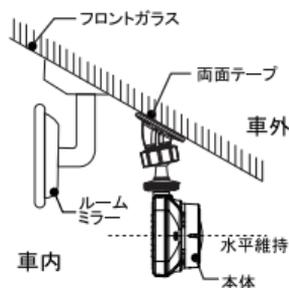
※中央部に設置できない場合、録画映像が片方に寄る可能性があります。



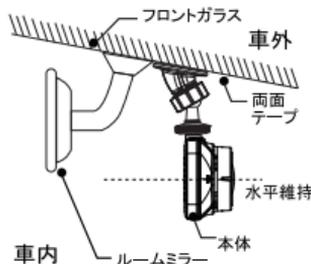
取り付けかた(つづき)

取り付け位置(側面図)

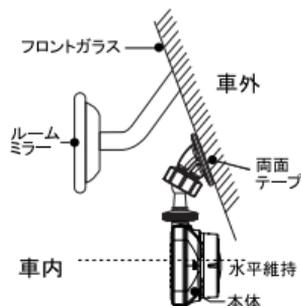
■ 一般的な乗用車



■ フロントガラスが寝ている車



■ ワンボックスやトラックなど



・ 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。

・ 本機が取り付けいた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

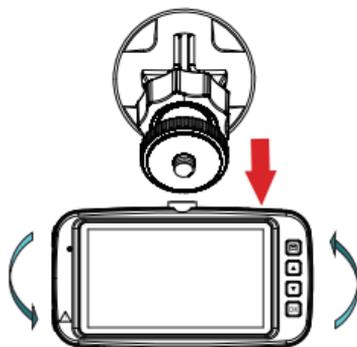
取り付け方法

1. ステーを本機のジョイントレールに合わせて、矢印の方向にスライドと回転させて、本体を装着します。

※取り付けステーのジョイント部の向きに注意して、奥まで確実に装着してください。確実に装着していないと、走行中に落下する恐れがあります。

2. 車の進行方向にレンズの角度を調整してください。

※取り付けステーのジョイント部に無理に力を入れないでください、破損することがあります。



取り付けかた(つづき)

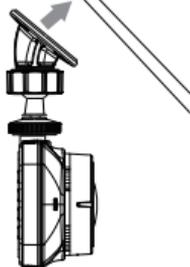
3.ステータを取り付ける場所を選び、その場所の汚れや油などをきれいに取り除いてください。

保護フィルムを剥がす



4.ステータの両面テープから保護フィルムを剥がして、フロントガラスに取り付けてください。

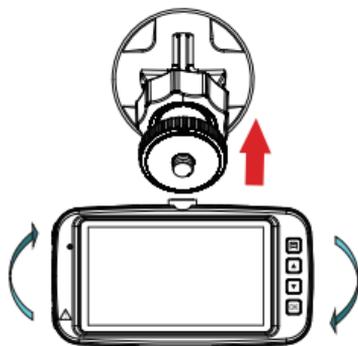
フロントガラス



※固定力を強くするために、本体を取付後24時間以上放置してください。
※貼り直しはテープの粘着力が弱まり、脱落する恐れがあります。

取り外し方法

ステータから本機を取り外す時には、螺旋部と本機を矢印の方向に回転してください。



Micro SDカードについて

ご注意

MicroSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用してください。

- 付属のMicroSDカードを使用してください。指定以外のMicroSDカードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
- 市販のMicroSDカードによって認識しにくいものや、挿入・取り出しにくいものがあります。4GB以上、32GB以下のMicroSDカードに対応しています。SDカードのスピードは「Class6」と以上です。
- MicroSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- 本体の電源が入った状態で、MicroSDカードを抜き差しをしないでください。MicroSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- MicroSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットから電源アダプターを抜き、本体の電源ボタンで電源をOFFにしてください。必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してから、MicroSDカードを取り出してください。※動作LEDが点灯している状態でMicroSDカードを取り出すと、記録映像が中断される、または一部分が削除される、若しくはMicroSDカードが破損する恐れがあります。
- MicroSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコンにバックアップすることをおすすめします。

Micro SDカードの挿入と取り出し

1. MicroSDカードを挿入する前に、必ず本機の電源がOFFになっていることを確認してから行ってください。

※本機動作中、MicroSDカードの挿入・取り外しをすると、データの破損、本機の故障の原因になる恐れがあります。

2. MicroSDカードの向きに注意してスロットに差し込んでください。

本機動作LEDランプが点灯していないことを確認してください。



本体正面

本体背面



Micro SDカードについて(つづき)

3. MicroSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

4. MicroSDカードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

※MicroSDカードを取り出す前に、必ず本体の電源をOFFにしてください。
※MicroSDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※事故発生時に記録された映像データが壊れないように、必ず本体の電源をOFFにしてからMicroSDカードを抜いて保管してください。



Micro SDカードのフォーマット

本機に装着されているMicroSDカードの容量は8GBです。緊急録画モードで記録された動画が上書きされないので、MicroSDカードの容量を超える可能性があります。MicroSDカードの容量を超える際に、液晶に「SDカードがいっぱい！」が表示され、動画記録が停止します。その時は、MicroSDカードをフォーマットする必要があります。

MicroSDカードをフォーマットするには下記の手順が必要です。
※MicroSDカードをフォーマットする前に、重要なデータをバックアップしてください。

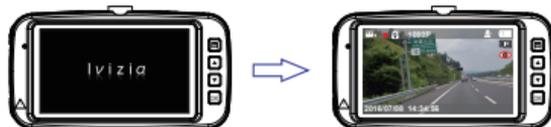
①同梱されているMicroSDカードが挿入されていることを確認してください。

※電源がOFF(電源ランプ消灯)の状態、MicroSDカードをMicroSDカード挿入口に「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



②車輦のエンジンをかけて、本体に電源入れます。

※本機に電源入れると、オープニング画面が表示されてから録画を開始します。
※録画中電源ランプは赤く点滅しています。(充電中の場合、赤いと緑でサイクル点滅しています。)



Micro SDカードについて(つづき)

③本体全般設定メニューを表示します。

※録画中本機の「MENU」ボタンを押しても、全般設定メニューに入りません。先に本機の「OK」ボタンを押して、録画を停止してください。録画を停止してから「MENU」ボタンを押して、設定画面に入ります。カーソル▼ボタンで「一般設定」を選択してOKボタンを押すと、本体全般設定メニューに入ります。

G-Sensitivity: ノーマル

デフォルト 設定

フォーマット

④フォーマットを実行します。

本体全般設定画面に入ってから、「フォーマット」項目の「はい」項目を選択し「OK」ボタンを押して、フォーマットを実行してください。

※フォーマットが完了すると、全般設定メニューに戻ります。この時に「MENU」ボタンを押すと、設定画面に戻ります。もう一回押すと、録画モードに戻ります。録画モードで「OK」ボタンを押すと、録画を開始します。

フォーマット

フォーマットしますか？
全てのデータを削除します。

はい

いいえ

ご注意

本機を使用する前に、MicroSDカードを本機でフォーマットする必要があります。

- MicroSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコンにバックアップすることをおすすめします。
- フォーマットの操作は、必ず本機が車輻に固定され、本機に電源が入っている状態で行ってください。

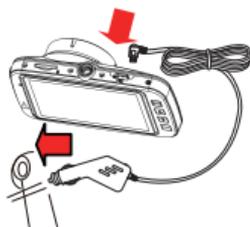
電源の入れ方・切り方

電源ON

①同梱品のシガー電源アダプターを接続する。同梱されているシガー電源アダプターを本体の USB 端子と車輛のシガーライターソケットに差し込みます。

②エンジンをかけると自動的に電源が入り、オープニング画面が表示されます。

※同梱しているシガー電源アダプターをご使用ください。



シガーライターソケット

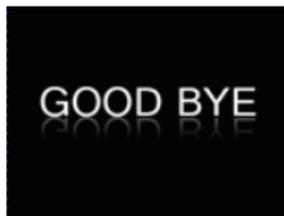


電源OFF

①車のエンジンを切って、本体に電源供給がされなくなると、本機は自動的に電源がOFFになります。

②本体の電源ボタンを約2秒以上長押しすると、電源がOFFになります。

※電源をOFFする前に、録画の中止と保存をしてください。(録画を中止したい時は、録画中本体の「OK」ボタンを押ししてください。)



緊急録画について

録画方法について

録画の方法:ループ録画と緊急録画

●ループ録画(常時録画)

本機の設定により、1分間/3分間/5分間/10分間のループで録画します。
常時録画時は、1分間/3分間/5分間/10分間単位で続けて録画します。MicroSDカードの容量を超えると、古いファイルから順番に上書きされます。

1分	1分	1分	1分	1分	ファイル続く…
----	----	----	----	----	---------

●緊急録画

(1)緊急録画とは

録画中緊急録画ボタン[△]を押す、あるいは本機に搭載されているGセンサーが衝撃を感知すると、緊急モードで録画開始します。
緊急録画を開始すると、本機液晶左上に「🔒」マークが表示されます。



(2)緊急録画形式

緊急録画開始の時点により、ロックされる動画が違います。

(例)

※常時録画ファイル構成を「1分間」に設定時、動画①→②→③…録画し続けます。
※動画②に事故発生時、緊急録画が開始します。
※★は緊急録画の開始時点。

動画①	動画②	動画③	ファイル続く…
1分	30s ★1	30s ★2	1分

事故発生

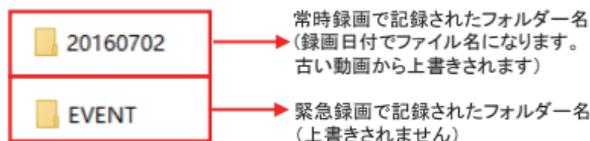
緊急録画について(つづき)

★1: 動画②の最初から30秒以内に事故発生、緊急録画を開始すると、動画②がロックされます。

★2: 動画②の最終30秒以内に事故発生、緊急録画を開始してから、30秒以内の動画もロックされます。

例: 動画②の58秒に事故発生、動画②と動画③の最初28秒がロックされます。

(3) 緊急モードで記録されたビデオは上書きされません。



(4) 緊急録画完了後、本機液晶左上の「」マークが消えて、常時録画に戻ります。

ご注意

- 緊急とは、衝撃を検知した場合という意味です。
- Gセンサーがソフトに設定されている場合、細かな衝撃も検知します。
センサー感度がハードに設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。
- MicroSDカードの容量を超えた場合、古い映像データから順次を上書きされます。
- 緊急録画モードで記録されたファイルは上書きされません。緊急録画が多くMicroSDカードの容量を超えた場合、録画ができません。保存する必要があるファイルをパソコンにコピーしてから、MicroSDカードをフォーマットしてください。
- 常時録画と緊急録画モードで記録されたフォルダー名は違います。

動画記録モード

動画記録画面



1.液晶モニター

映像画面を表示します。

2.モードアイコン

動画記録モードのアイコンを表示します。

3.録画中アイコン

録画中点滅します。

録画中、本機の「OK」ボタンを押して、録画停止をすると、アイコンが消えます。

録画停止中、本機の「OK」ボタンを押して、録画を再開すると、アイコンが点滅します。

4.緊急録画中アイコン

緊急録画している時に表示されるアイコンです。

5.解像度アイコン

映像記録の解像度を表示します。

6.音声録音アイコン

Voice Recordの状態を表示します。

オンに設定する時:  オフに設定する時: 

7.電源アイコン

充電状態を表示します。

動画記録モード(つづき)

8. MicroSDカードアイコン

MicroSDカードの状態を表示します。

挿入時:  未挿入時: 

9. 動体検知アイコン

Motion Detectをオンに設定する時に表示します。

Motion Detect機能をONに設定、本機が録画モードのスタンバイ状態で、動体検知した時に自動的に録画を開始します。録画してから10秒後、自動的に録画を停止します。
※引き続き動体を検知している場合は録画をし続けます。

10. 日付・時刻

本機に設定された日付と時刻を表示します。

動画記録モードの設定

録画停止中、本機の「MENU」ボタンを一回押すと、動画モードのメニューを選択できます。「OK」ボタンを押すと、設定メニュー画面が表示されます。



動画記録モード(つづき)

項目	設定内容	説明
解像度	1080P(▲)	動画記録の解像度を1920x1080に選択します。
	720P	動画記録の解像度を1280×720に選択します。
	VGA	動画記録の解像度を640×480に選択します。
ループ録画	1分(▲)	記録動画ファイルのループ記録時間を設定します。
	3分	
	5分	
	10分	
Voice Record	オフ	映像だけを記録します。音声を同時に記録しません。
	オン(▲)	映像と同時に音声も記録します。
G-Sensitivity	オフ	G-Sensorの感度を選択します。 ※「ハード」に設定すると、強い衝撃だけに反応し、緊急動画を記録します。
	ソフト(▲)	
	ノーマル	
	ハード	
Motion Detect	オフ(▲)	動体検知機能を使用するかどうかを設定します。 ※動体検知機能は本機の動画記録モードしか使用できません。 ※動体検知機能は本機に電源を入れて、動画記録モードでのスタンバイ状態のみ使用できます。
	オン	※動体検知機能は起動してから10秒録画します。10秒以内に続けて動体検知できなければ録画停止になります。

▲は工場出荷設定値です。

※カーソルボタン: 上下の項目を選択します。

※OKボタン: 選択された項目の設定値を切り替えます。

撮影モード

撮影画面

録画モードのスタンバイ状態で「MENU」ボタンを長押しすると、撮影モードに入ります。液晶モニターで被写体を確認してから、「OK」ボタンを押すと、撮影します。



1.液晶モニター
被写体を表示します。

2.モードアイコン
撮影モードのアイコンを表示します。

3.撮影数量アイコン
撮影可能数量を表示します。

4.解像度アイコン
静止画の解像度を表示します。

5.画質アイコン
バーが三つの場合最高画質です。

6.露出補正アイコン

7.電源アイコン
充電状態を表示します。

8. MicroSDカードアイコン
MicroSDカードの状態を表示します。

挿入時:  未挿入時: 

9.日付・時刻
本機に設定された日付と時刻を表示します。

撮影モード(つづき)

撮影モードの設定

撮影モードで、本機の「MENU」ボタンを一回押すと、撮影モードのメニューを選択できます。「OK」ボタンを押すと、設定画面が表示されます。



項目	設定内容	説明
解像度	5M(▲)	解像度を2592x1944に選択します。
	3M	解像度を2048x1536に選択します。
	2M	解像度を1920x1080に選択します。
	VGA	解像度を640x480に選択します。
画質	Fine	画質を設定します。
	Normal(▲)	
露出補正	0(▲)	数値3、2、1、0、-1、-2、-3の露出補正を設定します。

▲は工場出荷設定値です。

※カーソルボタン: 上下の項目を選択します。

※OKボタン: 選択された項目の設定値を切り替えます。

再生モード(記録ファイルの読み出し)

本機の再生モード画面

録画モードのスタンバイ状態で「MENU」ボタンを長押しすることにより、再生モードに入ります。再生モードに入ると、本体に記録された動画や静止画を本機で再生できます。

再生モード画面



動画再生中の画面



1.モードアイコン

再生モードのアイコンを表示します。

2.ファイル名

動画や静止画のファイル名を表示します。

3.電源アイコン

充電状態を表示します。

4.記録されたファイル

5.日付・時刻

動画や静止画を撮った時の日付と時刻を表示します。

6.動画記録時間

7. 保護のアイコン

本ファイルが保護された状態のみ表示します。

8. ファイルNO./ファイル数

※動画再生中にカーソルボタンを押すことにより、2倍、4倍で早戻しと早送りができます。

再生モード(記録ファイルの読み出し)つづき

再生モードの設定

再生モードで、本機の「MENU」ボタンを一回押すと、再生モードの設定メニュー画面が表示されます。

スピーカー音量
削除
全ファイル削除

全ファイル削除
保護
解除

項目	設定内容	説明
スピーカー音量	5(▲)	動画を再生する時の音量を設定します。
削除	---	OKボタンを押すと、選択されたファイルを削除します。
全ファイル削除	---	OKボタンを押すと、記録されたファイルを全部削除します。 ※保護されたファイルは削除できません。
保護	---	OKボタンを押すと、選択されたファイルを保護します。
解除	---	保護されたファイルにこの設定を選択してOKボタンを押すと、保護が解除されます。

※カーソルボタン: 上下の項目を選択します。

※OKボタン: 選択された項目の実行を確認します。

パソコンで記録ファイルの読み出し

本機に記録されたファイルをパソコンで読み出すことができます。

※本機に記録されたファイルを読み出す時に、Windows XP、Windows 7/8/10のOSを使ってください。

MicroSDカードをパソコンと接続する

1.本機の電源OFFにしてください。

※電源ONの状態ではMicroSDカードを取り出すと本機とファイル破損の恐れがあります。

2. MicroSDカードを取り出して、カードリーダーに挿入してください。

※MicroSDカードのカードリーダーは付属しておりません。

※MicroSDカードは大切に保管してください。再度本機を使う前に、MicroSDカードを本機に挿入してください。

3. MicroSDカードを装着したカードリーダーをパソコンに接続して、MicroSDカードを開き、「DCIM」フォルダーを開きます。

4. 再生したいファイルをダブルクリックして、Windows標準のWindows Media Playerで再生することができます。

本体を直接パソコンと接続する

本機を直接パソコンに接続することができます。

1. USBケーブルで本機とパソコンを接続してください。自動的に録画モードに入ります。約1秒後、下記の画面に入ります。

※付属のUSBケーブルを使用してください。

2. 自動的に外部ストレージを開きます。「DCIM」フォルダーを開いてください。

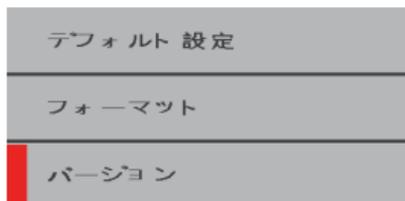
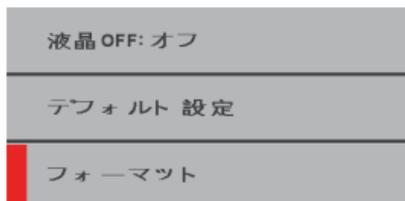
3. 再生したいファイルをダブルクリックして、Windows標準のWindows Media Playerで再生してください。



本体全般設定について

全般設定メニュー画面

録画モードのスタンバイ状態で「MENU」ボタンを一回押すと、一般設定のメニューを選択できます。「OK」を押すと、設定メニュー画面が表示されます。



項目	設定内容	説明
ボタン音	オフ	ボタンのタッチ音を設定します。
	オン(▲)	
日付/時刻	---	初期設定値は2016/07/01
		「▲」ボタンで、日時の数字をアップします。
		「▼」ボタンで、日時の数字をダウンします。
		「OK」ボタンで、設定した項目を保存します。カーソルが自動的に次の項目に移動します。
フリッカレス	50Hz(▲)	東日本地域は50Hzに設定してください。 西日本地域は60Hzに設定してください。 ※記録撮影時にLED信号灯等のちらつきを防止し録画します。
	60Hz	
液晶OFF	オフ(▲)	設定された時間が経過すると、自動的に液晶をOFFします。
	1分	
	3分	
デフォルト設定	はい(▲)	本機日付設定以外のすべての設定を工場出荷状態に戻します。 ※記録されたデータは削除しません。
	いいえ	

▲は工場出荷設定値です。

本体全般設定について(つづき)

項目	設定内容	説明
フォーマット	はい(▲)	Micro SDカードのフォーマットを行います。 ※Micro SDカードをフォーマットする前に、重要なデータをPCでバックアップしてください。
	いいえ	
バージョン	—	本機のバージョンを表示します。

▲は工場出荷設定値です。

本体表示言語設定について

本機の電源を入れ、「MENU」ボタンを一回押すと、設定画面に入ります。言語設定を選択してOKボタンを押すと、言語設定画面が表示されます。



項目	設定内容	説明
表示言語	英語	本機メニュー表示言語を選択します。
	日本語(▲)	

▲は工場出荷設定値です。

記録時間について

本機に使用するMicroSDカードにより、記録時間が異なります。

MicroSD カード容量	記録時間		
	(640×480)VGA	(1280×720)720P	(1920×1080)1080P
8GB	約150分	約50分	約40分
16GB	約300分	約100分	約90分
32GB	約620分	約200分	約190分

- 本機は4GB以上、32GB以下のMicroSDカードに対応しています。
- MicroSDカードのスピードは「Class 6」以上です。
- 上記記録時間は目安であり、絶対保証値ではありません。
- 被写体や周囲環境により、記録可能な時間と件数が変化することがあります。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認して下さい。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店、サービスセンターまでお問い合わせください。

こんなとき	ここをお確かめください	こうしてください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の電源はONになっていますか？ ●シガー電源アダプターは外れていませんか？ ●ヒューズが切れていませんか？ ●充電されていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の電源をONにしてください。 ●シガー電源アダプターを差し込んでください。 ●ヒューズを交換してください。(2A)
誤作動をする	—	<ul style="list-style-type: none"> ●本機のリセットボタンを押してください。 ●本機を再起動してください。 ●再起動とリセットしても治らない場合は、電源をOFFにして、挿入しているMicroSDカードの中のデータをバックアップしてから、フォーマットして使用してください。 ●工場出荷設定に戻してください。
液晶画面に輝点がある	液晶パネルの特性です、不良ではありません。 (有効画像素99.99%以上)	—
録画できない	<ul style="list-style-type: none"> ●MicroSDカードを装着していますか？ ●MicroSDカードの容量を超えていませんか？ ●MicroSDカードエラーが発生していませんか？ ●録画モードに切り替えましたか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●MicroSDカードを本体に装着しているかを確認して下さい。 ●「SDカードがいっぱい！」が表記される場合は、電源をOFFして、装着しているMicroSDカード中のデータをバックアップしてから、フォーマットして使用してください。 ●MicroSDカードを変換してください。 ●本機の「MENU」ボタンを長押しして、録画モードに切り替えてください。

仕様書

型番	DRZ-300
商品名	ドライブレコーダー
ディスプレイ	2.7インチフルカラーTFT液晶
レンズ	200万カラーCMOS
視野角	対角135°（水平:97° 垂直:50°）
フレームレート	27.5コマ/秒
録画ファイル構成	1/3/5/10分単位循環設定可能
動画解像度	1080P 1920x1080
	720P 1280x720
	VGA 640x480
静止画解像度	2592x1944(5M)
	2048x1536(3M)
	1920x1080(2M)
	640x480(VGA)
Motion Detect	ON/OFF設定可能
音声録画	ON/OFF設定可能
G-Sensor	○
ファイル	.avi(動画)
圧縮方式	.jpg(静止画)
電源電圧	DC12V(5V入力)
消費電力	約2.2W
内蔵電池	3.7V 180mA
再生方法	Windows標準のWindows Media Player
本体寸法	88.2(W)x50.8(H)x29(D) mm (突起部含む)
本体重量	約66g(microSDカード含む)
保存温度範囲	-10°C～+60°C
動作温度範囲	0°C～+50°C
付属品	シガー電源アダプター(約4m)×1
	取付ステー×1
	MicroSDカード(8GB)×1 ※本体に装着
	取扱説明書・保証書×1
	USBケーブル×1

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。
 ※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

lvizia DRZ-300

輸入元:株式会社イノベティブ販売

サービスや修理に関するお問い合わせ先

サービスセンター:〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

TEL:048-970-5027 (平日9:00~12:00、13:00~17:00 土日祝祭日等除く)

2016.07